

学校支援を積極的に進める

学校・家庭・地域との連携を深める P T A 活動を目指して

一宮市立木曽川中学校 P T A

1 はじめに

本校は、一宮市の北部に位置している。平成 17 年に一宮市、尾西市、木曽川町が合併し、一宮市立木曽川中学校となった。校区は、木曽川に面しており豊かな自然に囲まれているとともに、JR や名鉄の駅があり、交通の便がよいことから、近年マンションや住宅が増えている。



【木曽川中学校校舎】

生徒数は 946 名、学級数は 28 学級（通常学級 25、特別支援学級 3）で、一宮市内で生徒数が一番多い中学校である。『千人力』『凡事徹底』『参画』を合言葉に、学校と家庭・地域が連携して教育活動を進めている。

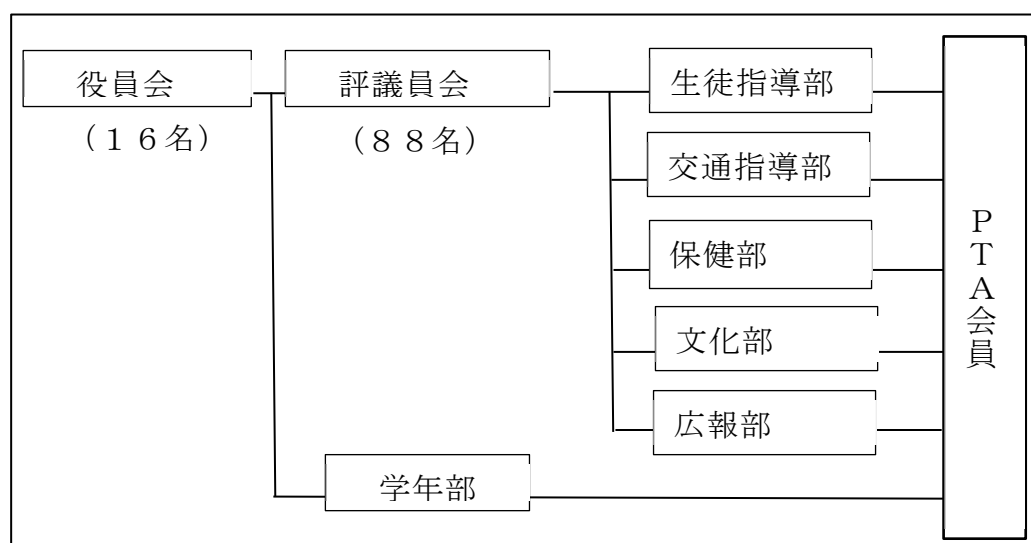
2 研究への取組

(1) P T A 組織

本校の P T A 組織は、役員 16 名、評議員 88 名、学年部 4 名で構成されている。

評議員は、生活指導部、交通指導部、保健部、文化部、広報部に分かれて活動をしている。

- ・生徒指導部…あいさつ運動への参加・校区の商業施設などの巡回
- ・交通指導部…交通立ち番指導・自転車点検
- ・保健部…保健・給食関係の学習会・研修会の開催
- ・文化部…カルチャー講座・手作り教室の開催
- ・広報部…P T A 新聞の編集と発行



【木曽川中学校 P T A 組織図】

(2) 研究のねらい

一宮市では「未来を拓く子ども」の育成を目指して教育活動に取り組んでいる。「未来を拓く子ども」を育成するためには、学校だけでなく、家庭・地域が連携していく必要がある。また、現在の本校PTAの加入率は100%であり、学校と地域の結びつきも強い地区である。そこで、PTAが学校支援に積極的に取り組むことで、家庭と学校の連携をさらに深めていくことができると考えた。

3 実践活動の概要

(1) PTA交通指導部の取り組み

① 登校時の交通立ち番指導

登校時の交通立ち番指導を、PTA交通指導部が中心となって1か月に2回行っている。木曽川中学校の学区は広いので、11か所に分かれて交通立ち番指導を行っている。交通量の多い交差点では、PTA交通指導部が、安全に登校できるように子どもたちに声をかけている。また、通学路に踏み切り



【交通立ち番指導】

もあり、遮断機が下りだしてから踏切に入ることがないように、安全に踏切を渡れるように声をかけている。地域のことがよく分かる保護者が中心となって登校指導することで、子どもたちにより安全を意識させることができている。

② 自転車点検

5月にPTA交通指導部が近隣の輪業組合に依頼をし、自転車点検を行った。自転車通学者のすべての自転車(約200台)を輪業組合の方とPTA交通指導部が協力して点検をした。ブレーキの利きやチェーンのたるみなど、不備があった自転車については、不備の場所が分かるカードを自転車に付けていった。教室では、担任の先生から不備があった自転車



【自転車点検】

については、保護者と相談して安全に乗れる状態にするようお願いをしてもらった。子どもたちも普段なかなか自転車の状態を確認することがないので、輪業組合の方によるきちんとした自転車点検を行うことで、自転車による事故やトラブルを未然に防ぐことにつながっていくものと考えている。

(2) P T A生徒指導部の取り組み

① あいさつ運動

あいさつ運動を1か月に2回、子どもたちの登校時間に合わせて、P T A生活指導部が学校の先生方と協力して行っている。参加した保護者からは、「近所の子や子ども会などで知っている子もいるので、子どもたちから大きな声であいさつをしてくれる」、一緒に活動している先生方からも、「P T Aの方が一緒にあいさつ運動をしてくると、子どもたちのあいさつの声が大きくなる」などの感想をいただいている。



【あいさつ運動】

② 校区の商業施設などの巡回

校区には大きな商業施設があり、子どもたちがトラブルに巻き込まれる心配がある。そこで、夏休みと冬休みにP T A生活指導部が学校の先生方と一緒に巡回をしている。休みの日なので子どもだけで遊んでいたりと、買い物をしたりしていたが、大きな心配事はなかった。トラブルが起きやすい場で知っている大人の目があることは、子どもたちの安全を守るうえでも大切なことだと考えている。



【商業施設の巡回】

(3) その他P T A各部の取り組み

それ以外の活動として、P T A保健部では、学校保健委員会や給食試食会を計画・運営している。今年度は、子どもと一緒に「命の授業」に参加をした。P T A文化部ではカルチャー講座を開催して作品作りを行っている。作品は、学校の「カルチャー週間」の際に展示をしている。

(4) P T A役員の取り組み

P T A役員で体育祭や合唱コンクールといった行事の支援を行っている。体育祭では、P T A役員が分担して保護者の自転車の誘導・整頓、会場の警備、来賓の受付を行った。また、合唱コンクールでは、自転車の誘導・整頓だけでなく、会場への保護者の誘導や入れ替えも行



【体育祭の支援の様子】

った。先生方には子どもたちの指導を最優先に考えて行動してほしいと思っており、保護者の対応についてはPTA役員が行うことで先生方に負担がなく行事を進めることができると考えている。当日は、知っている保護者も多く、声をかけやすかった。事前に教頭と綿密に打ち合わせを行って役割を分担したことで、スムーズに行事の支援を行うことができた。

(5) 「さんかく倶楽部」・「おやじの会」との連携

木曽川中学校PTAには、「さんかく倶楽部」というPTAから希望者を募った組織がある。「さんかく倶楽部」では、文化部との部活動交流や、「落ちバスターズ」という名前をつけた清掃活動に取り組んでいる。文化部との部活動交流では、茶道部のお手前の披露に参加をしたり、美術部と一緒に行事のポスターを作ったりしている。



【茶道部との交流】

「落ちバスターズ」では、11月から12月にかけて3回、生徒の登校時間の前に、校門付近の落ち葉を清掃している。



【おやじの会の除草作業】

また、木曽川中学校には生徒の保護者や卒業生の保護者の有志による「おやじの会」がある。「おやじの会」は、中学校の除草作業（年4回）や運動部の部活動交流を行っており、PTAも「おやじの会」主催の除草作業や部活動交流会に参加をして手伝いをしている。特に除草作業では、普段なかなか除草作業ができない先生方の助けになっている。

4 おわりに

今回の研究を通して、PTAが学校支援に積極的に取り組むことで、安心感が生まれ、家庭と学校の連携を深めていくことができ、子どもたちの成長につなげていけると改めて実感することができた。

これまでも「夢を抱き ともに生き 学び・育つ PTA」を目標とし、子どもの健やかな成長を願って、積極的に活動に取り組み、成果を上げてきた。これからも、子どもとともに学び・育つPTA活動を目指していきたい。そのために、家庭の教育力向上、学校教育への理解・協力、地域社会との連携を一層強化し、地域の実態に即した活動を粘り強く推し進めていきたい。